

「おおぞら」号は道東へ

札幌市医師会
JR札幌病院

はらぶち
原 洩

非日常に浸りたくなくて道東への旅に出ました。旅の始まりは札幌駅です。この駅自身、140年以上の時を刻みつつ、今後、北海道新幹線の延伸と相俟って、未来へ飛翔する「時の旅人」です。

私も、261系「おおぞら」号で、この駅を出発する「旅人」になります。乗車後、上野幌駅を過ぎると右手の丘の上に仰ぎみるような日本ハム新球場の建設現場が現れます。以前、夜間に列車でここを通過したことがありました。その時、新球場は光輝く照明に映し出されて、例えるなら室蘭湾から見る工場夜景を彷彿させる美しさでした。今だけの「出会い」です。

さらに列車は新夕張駅を過ぎて間もなく日高山脈のトンネル群を通過していきます。先ほどの建設現場に関連して想起されますが、現在、石勝線と呼ばれるこの区間は困難を窮める大工事で1981年の完成までに15年の歳月を費やしました。先人たちの労苦に敬意と感謝を表わします。その恩恵で当該トンネル区間はスラブ軌道が敷設可能となり、列車の動揺をあまり感じません。ただし、ネットはつながらない区間のため、スマホでdヒッツを聴いているうちに、しばしの微睡みに陥ります。

トンネル群を抜けると、そこには十勝平野の雄大な風景が待っています。走行中の列車「おおぞら」号の名称はこの光景に因んで名付けられました。ここでは、やはり、「大空と大地の中で」の曲を口ずさみたくくなります。その大地に彩りを添える格子状の防風林は1920年代より植林が始まり、その総延長は帯広市だけで220kmにもなるそうです。そんなパノラマのような眺めから目を転じると、遠くにたった今、列車で通過した日高の山並みが残光によるシルエットで連なっています。つくづく北海道は多様性のある大地だと思います。その成り立ちは「昔、むかし東の島と西の島に分かれていたのが後に合体して一つの島になったのだ」という話を思い出しました。

さて、そうこうしている間にもうすぐ釧路。約4時間の旅も終わりです。細かい話で恐縮ですが、札幌と釧路では時差とも呼べる「時の隔たり」が12分少々あります。特にそれを実感できるのが6月上旬から夏至にかけての時季です。そんな季節は少しだけ早起きして幣舞橋に佇んでみます。春、夏、秋、冬の「四季の彫刻像」たちへ、再会の約束をした旅のラストシーンとして。

追記) コロナ禍の昨今、個々人の移動も儘ならない状況が続いております。諸先生方のご尽力に深謝するとともに旅行が心から楽しめる社会になるようお願いしてやみません。

私と野球

遠軽医師会
遠軽やまぐち眼科クリニック

やまぐち
山 口 亨

原稿執筆のご依頼をいただいた時期、北海道（全国的にも）は「BIG BOSS」の話題であふれかえっています。札幌圏から離れた土地で暮らしていると、野球場に足を運ぶことは難しく盛り上がりは遠い世界に感じますが、根っからの野球好きとして今年は楽しみが増えそうな気がしています。

自分の過去を振りかえってみると、幼いころから野球に興味をもち、近所の空き地でボールを投げ、バットを振っていた記憶があります。まだ王貞治さんが現役時代で756本のホームラン世界記録達成をライブで見た遠い昔の時代です。田舎の少年はTVに映るプロ野球選手にあこがれて小学校の頃より野球チームに入り、その後は部活中心の学生生活を続けてきました。最初は夢中で楽しかったはずですが、中学生にもなると己の運動能力に限界を感じてきます。しかしながら、なぜか本気で（勘違いして…）甲子園出場を夢見て高校でも野球部に入部。ただ現実には厳しく、周囲との能力差の大きさががっかりし、試合に出ることの難しさを感じた記憶があります。

旭川医大に入学後、ご縁があってまた野球部に入部。そこにも東医体を目指した真剣な勝負がありました。トーナメント一試合にかける情熱は他のカテゴリーと比べて勝るとも劣らないものでした。高校生との違いは宴会があるかどうかくらいで…。

私事ですがオホーツク管内の小さな街で眼科クリニックを開業して3年が経過しました。そもそも自分がなぜ眼科医を選んだかを考えても、野球をしていたことが大きかったです。科の選択を迷っていた時期に眼科の先輩から熱心なお誘いを受け（教授が部活の顧問でした）、気が付けば入局を決めていた感じです。そこから約25年、大学病院、関連病院そして現在のクリニックと多くの施設で勤務させていただきました。働いてから感じることは、部活の関係者とは世代や専門領域に関わらず野球を通じてつながれること、このつながりは貴重でありこれからも大切にしないといけないことです。また組織をマネジメントするにあたり、野球というチーム競技を経験してきたことは重要だったと思います。

プレーヤーとしては10数年前の医局野球で右ふくらはぎを肉離れし引退…その後は運動しなきゃと思いつつ時間ばかり過ぎていく毎日です。

札幌ドームでのプロ野球も今年で最後、来年からは新球場になります。世の中が落ち着き、遠慮なく声を出して「BIG BOSS」を応援できる日を願っています。